

三河工芸ガラス美術館 利用規約

改定日：2025.3.15

三河工芸ガラス美術館(以下、当館)のご利用にあたり規約を以下の通り定めます。

入場料のお支払の有無に関わらず、本規約を守らないお客様には、入館をお断りすることや、施設外への退去、悪質の場合「出入り禁止」対応をさせていただく場合があります。

1. 当館の(美術館本館)のご利用には入場料をお支払いください。
2. 当館の入場無料エリア(ミュージアムショップ)を利用する場合にも、当規約、
ならびにスタッフがお声かけした場合は指示に従ってください。
3. 当館の開館時間は、10:00～17:30 です。
最終入館時間(入場券販売)は、17:00 です。
4. 暴風雨警報、台風、停電、災害等の影響により、臨時に閉館する場合があります。
臨時閉館の場合、原則入場料の払い戻しを実施致しません。
5. 当館の来場者に対する展示解説・ガイド案内は行っておりません。
6. 次に定める物は当館に持ち込むことはできません。

項目	説明
傘	日傘を含む。 ※折り畳み式は収納すれば持ち込み可。
撮影機材	大型撮影カメラ(一眼、ミラーレス等) ※展示物破損の被害があったため。
撮影補助機材	自撮り棒、一脚、三脚 ※展示物破損の被害があったため。
ペット	犬・猫、鳥類、昆虫類、他 人間以外の生き物を指します。
キャリーカー スクーター	車椅子、ベビーカーを含む。 ※館内に走行できる広さがないため。
飲み物	ペットボトル、水筒などフタができる状態は可。館内ではバッグ、リュック等に収納し作品に当てない様にお気を付けて下さい。アルコールは無条件に不可。
食べ物	お持ち込みできません。 ※お土産物などは受付にてお預かりします。
ぬいぐるみ、玩具	お持ち込みできません。作品への損傷、紛失等のトラブル防止のため。
スピーカー設備	ギガホン、メガホンなど外部に音・声が流れる機器、拡声器。
大きな荷物	キャリーケース、大型リュックサックは受付にてお預かりします。
履物(ピンヒール)	ガラスの床が割れるトラブルが発生したため、 受付の下駄箱にて履き替えて下さい。
生け花	お持ち込みできません。花びら・花粉の落下や作品への接触防止のため。

7. 次の行為は禁止します。

項目	説明
館内での飲食	展示室内では、飴・ガムを含め、一切の飲食を禁止。 ※外テラス、階段室、1Fロビーでの一時的な水分補給は可。
館内での通話	スマートフォン、携帯電話、PHSは電源を切るか、 マナーモードにして、通話は館外にてご利用下さい。
展示柵内への立ち入り	敷地内のコーン、ロープ等のバリケード内への立ち入り禁止
固定柵への過度なもたれ行為	「万華鏡」「鏡の部屋」「階段」等の手すりを含む固定柵への足かけ、全身の体重でもたれ行為、ぶら下り行為、危険と判断した場合。
展示物・掲示物への接触	触る、叩く、物で突く、腰かける、登るなど一連の行為を含む
撮影補助機材を使用した撮影	レフ板、ストロボ等、本体に付随する機材を使用した撮影禁止。
展示場を含む敷地内は禁煙	紙たばこ、電子・水たばこを含み喫煙不可。※吸い殻のポイ捨て等マナー違反が後を絶たないため。 ご自身のお車内での喫煙は可能です。
館員・他のお客様への撮影	被写体に対して無断撮影禁止。 他のお客様が写る写真・動画撮影・ライブ配信は厳禁
飲酒状態での入館	過度な飲酒、他のお客様の迷惑になる場合は強制退出 (大声・奇声、歩行困難、危険行為等)
レーザーポインター 指示棒の使用	レーザー光による目の傷害、展示物への損傷。 展示物への損傷、安全装置の誤作動防止のため禁止
絵画の摸写	イーゼルの使用、絵の具を使用したスケッチ不可
危険物・火気の持ち込み	刃物・スタンガン・警棒・催涙スプレー、鈍器他、故意でなくても他のお客様や作品を傷つける恐れのある物。
集会・演説	館内外、駐車場を含む敷地内での無断の集会・演説
当館の承諾がない営利活動	ライブ配信、館内・敷地内での勧誘・営業行為等を含む。
法令に反する行為	暴言・暴力・暴行などの行為等。 ※館員及び他のお客様に対する行為を含めます
その他、当館が不適切であると判断した行為	過度な露出がある服装(下着・水着を含む)、コスプレ衣装・仮装での入館、撮影、 みだらな行為(注) 他。 また、それらをSNSへの投稿するなど 美術館としての気品やイメージを著しく損なう行為を含む。

注:みだらな行為について

老若男女(LGBT含む)人種を問わず(以下「男女」と称する)が、性器(陰部・胸部・臀部・他)又はそれを連想させる部分(全裸、上裸、下裸、下着、部分露出を含む)を露出させた状態、並びに性行為、またはそれを連想させる行為での撮影(写真・動画・ライブ、その他の手法を含む)に対する行いに加え、交際関係・内縁関係に関わらず「男女」が着衣の上からであっても性器に触れる、またはその行為に及んだ場合に対しても、当館の防犯カメラの映像確認、現場での目撃、他のお客様からのご指摘・ご報告があった場合には、当事者(ご本人・付添人)への事前の断りなく、**110番通報を行い厳しい姿勢で対処**することを、ここに明記致します。

これらは「**軽犯罪法:第1条**」「**刑法第147条(公然わいせつ)**」「**迷惑防止条例違反**」のいずれかに該当します。
また、これらの行為を行った撮影(写真・動画・ライブ、その他)をSNS他、投稿サイト並びに裏サイト、非公開サイトへのアップロード・拡散・販売・利益を得ることは、当館への「**名誉棄損**」に該当し、警察へ被害届、弁護士への対応を含め、民事または刑事訴訟することを、ここに明記致します。